



9回表、円陣を組み最後の反撃に氣勢を上げる



3番手で登板し3回を無失点に抑えた亀田



2番手で登板し2三振を奪った湯沢

Odate HOMEI HighSchool 2011 KOSHUEN



毎回続くチャンスに声を張り上げ声援を送り続ける応援団



浜風になびく団旗



7回裏、篠村一貫の鮮やかな連携でダブルプレーを決める

結果は0-8と点差が開いたが、毎回ランナーを出し、最後まであきらめずに攻め続ける好試合であった。鳳鳴ナインが私たちに見せてくれた甲子園での夢は、ひとまずその幕を閉じた。ひたむきなプレーをありがたう。選手たちの健闘は、市民を始め、多くの方々に大きな感動を与えたはずだ。彼らが発した光の向こうには、まだこの続きがある。また、夏が来る。

友情応援に駆け付けた篠山鳳鳴高・片山則昭校長「友好提携校として応援しようと思っていた矢先、大震災が起きた。ここで気持ちを一つにして応援しよう、バスを使わずに生徒全員が電車で来ました。みんな気持ちを一つにして頑張ってください」。

息子と一緒に応援した成田伸一さん(柄沢)「野球部OBとして誇らしい。夏もぜひ甲子園目指して頑張ってください。今日はとてもいい試合を見せてもらった」。息子の琢磨くん「高校生になったら、野球部に入って甲子園に出たいと思います」。

鳳鳴高1年の吹奏楽部、小坂真実さん(伊勢堂下)、柏木聡子さん(北秋田市)、藤田早友里さん(羽貫谷地)「相手は強豪だったけど、すごい一生懸命で、良い試合でした。今日は楽器が使えるなくて残念だったけど、その分、声を出して選手に届くように頑張りました」。

鳳鳴野球部元監督・若松清幸さん(寺ノ沢)「点差に関係無く、堂々とした次につながる試合が出来たと思う。また、応援も素晴らしく立派であった。応援に来たかがありました」。

大館鳳鳴高・高橋充校長「初勝利はかなわなかったが、本当に良く頑張った、感動しました。また、夏を目指して頑張ってください。今春で退職を迎えるが、最後に良い思い出を作ってくれてありがとう。そして、何よりも全国からたくさんのかたが応援に来てくれて、こんなにうれしいことはない。たくさんのおいしい思い出が出来ました」。